

生物学科 & HLS 研究所共催セミナー

顔の発生と再生



東京科学大学 大学院医歯学総合研究科

井関 様子 先生

顔は、感覚器やエネルギーを取り込む口を擁し、個人のアイデンティティを付与する身体の一部である。進化における顔の出現は、発生過程で第四の胚葉とも考えられる神経堤細胞の出現と一致している。頭部に出現する神経堤細胞は、顔面の硬組織を形成し、中胚葉由来の体幹部などの硬組織と性質が異なることが示されている。再生医療などにおいても考慮や差の利用が期待される。

1月30日（金） 15：00～17：00

理学部2号館 第二講義室

All Welcome!

世話人：佐藤敦子 sato.atsuko@ocha.ac.jp

連絡先：office-ihls@cc.ocha.ac.jp